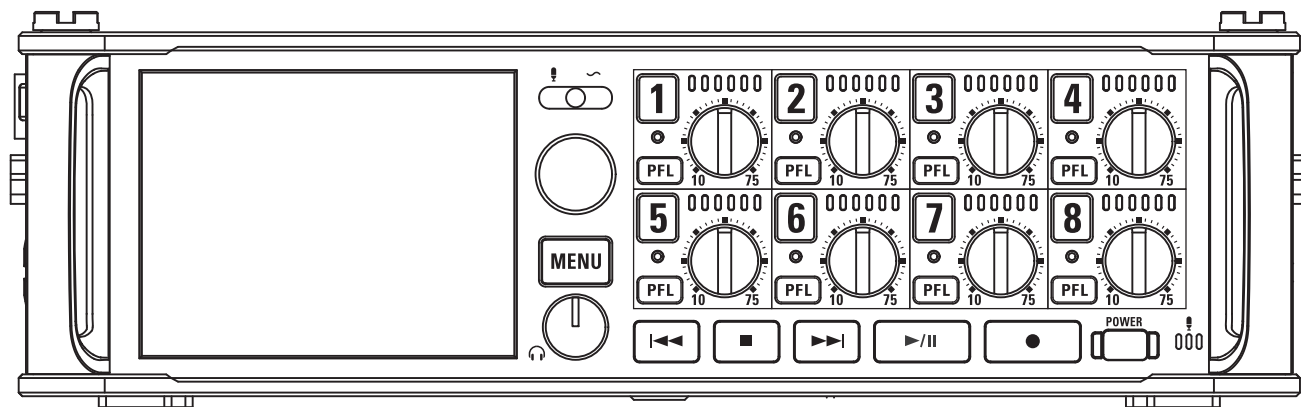


ZOOM®

F8

MultiTrack Field Recorder

Version 4.1 追補マニュアル





© 2017 ZOOM CORPORATION

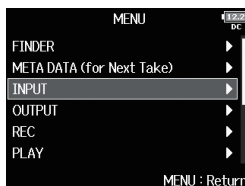
本マニュアルの一部または全部を
無断で複製／転載することを禁じます。


Ambisonic Mode のフォーマットを設定する

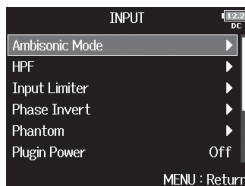
アンビソニックス A フォーマットを出力できるマイクをインプット 1～4 に接続して、アンビソニックス B フォーマットに変換して録音することができます。



1.  を押す

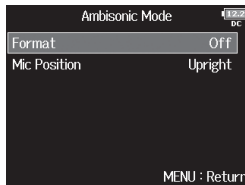
2.  で「INPUT」を選択して、
 を押す





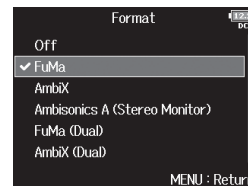
3.  で「Ambisonic Mode」を
選択して、 を押す



4.  で「Format」を選択して、
 を押す



5.  でフォーマットを選択し
て、 を押す

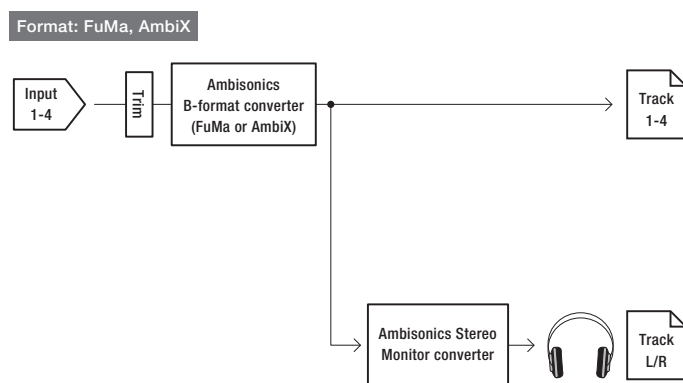


FuMa

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (FuMa) に変換し、4 チャンネルポリファイルとして保存します。

AmbiX

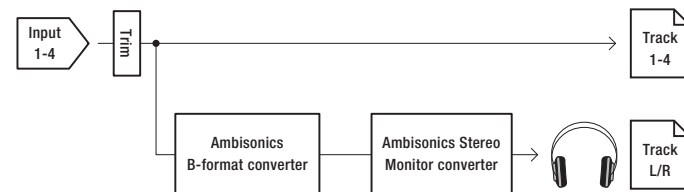
インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (AmbiX) に変換し、4 チャンネルポリファイルとして保存します。



Ambisonics A (Stereo Monitor)

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマットに変換せずに 4 チャンネルポリファイルとして保存できます。モニター信号は、アンビソニックス B フォーマットに変換し、その後通常のステレオ信号に変換したのになります。

Format: Ambisonics A (Stereo Monitor)



Ambisonic Mode のフォーマットを設定するのつづき

FuMa (Dual)

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (FuMa) に変換し、トラック 1～4 とトラック 5～8 にそれぞれ異なる入力レベルで録音することができます。

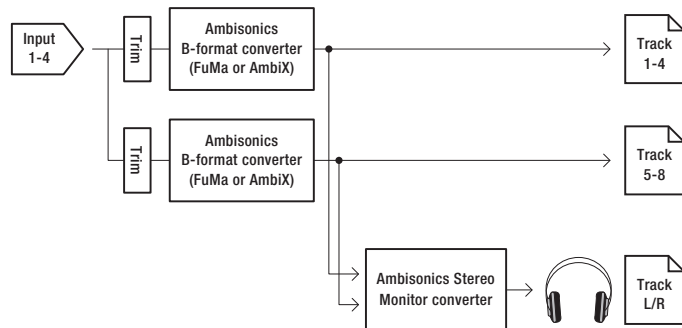
AmbiX (Dual)

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (AmbiX) に変換し、トラック 1～4 とトラック 5～8 にそれぞれ異なる入力レベルで録音することができます。

FuMa + AmbiX

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (FuMa) に変換した信号をトラック 1～4 に、アンビソニックス B フォーマット (AmbiX) に変換した信号をトラック 5～8 に、それぞれ異なる入力レベルで録音することができます。

Format: FuMa (Dual), AmbiX (Dual), FuMa + AmbiX



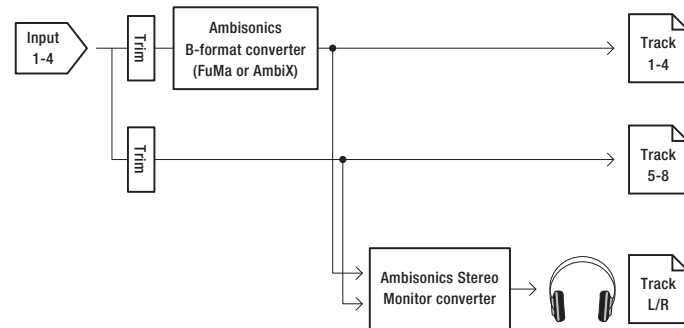
FuMa + Ambisonics A

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (FuMa) に変換した信号をトラック 1～4 に、アンビソニックス B フォーマットに変換しない信号をトラック 5～8 に、それぞれ異なる入力レベルで録音することができます。

AmbiX + Ambisonics A

インプット 1～4 からの信号をアンビソニックス B フォーマット (AmbiX) に変換した信号をトラック 1～4 に、アンビソニックス B フォーマットに変換しない信号をトラック 5～8 に、それぞれ異なる入力レベルで録音することができます。


Format: FuMa + Ambisonics A, AmbiX + Ambisonics A



NOTE

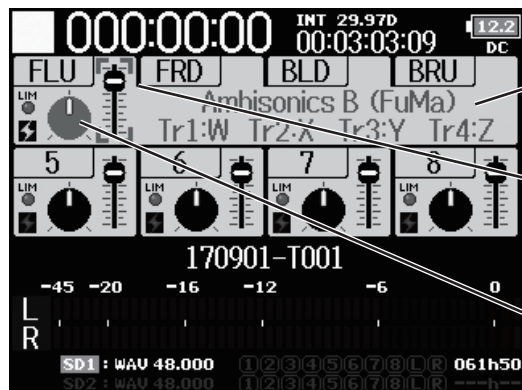
- ・ Ambisonic Mode のフォーマットが Off 以外に選択されている時、サンプルレートとして 192 kHz を選択することができません。
- ・ アンビソニックファイルは4チャンネルのポリファイルとして保存され、モノラル／ステレオファイルとしては保存されません。
- ・ Ambisonic Mode のフォーマットが Off 以外に選択されている時、ズームのマイクカプセルは利用できません。
- ・ Ambisonic Mode の入力トラックに対して、以下の各パラメーターが設定できなくなります。
 - Pan
 - Phase Invert
 - Side Mic Level
 - Input Delay
 - Stereo Link
 - Stereo Link Mode
 - Dual Channel Rec
 - Trim Link
- ・ Ambisonic Mode のフォーマットが Off 以外の時に録音をしたファイルは、通常の4チャンネルのポリファイルとしてではなく、アンビソニック音源として再生されます。そのため、再生中は該当するトラックに対して Pan の調整や、Mute を行うことができません。

HINT

- ・ オーディオインターフェース動作時 (Multi Track) でも Ambisonic Mode を設定できます。
- ・ Ambisonic Mode のフォーマットが Off 以外の時でも、モニターしたいトラックの **PFL** を押せば、そのトラックの入力音をモニターすることができます。PFL Mode が「PFL」に設定されている場合、アンビソニックス B フォーマットに変換される前の音をモニターすることができ、「SOLO」に設定されている場合はアンビソニックス B フォーマットに変換された後の音をモニターすることができます。
- ・ Ambisonic Mode の入力トラックの入力レベルは連動し、インプット1（もしくはインプット5）の  で入力レベルを調整することができます。
- ・ Ambisonic Mode の入力トラックのインプット有効／無効は連動し、該当するトラックのいずれかのトラックキーを押して同時に切り替えることができます。
- ・ Ambisonic Mode の入力トラックの PFL 画面から設定できる、以下の各パラメーターの設定が連動します。
 - HPF
 - Input Limiter
 - Phantom
 - Fader
 - PFL Mode

Ambisonic Mode のフォーマットを設定するのつづき

Ambisonic Mode が設定されていると、ホーム画面が下記のようにになります。

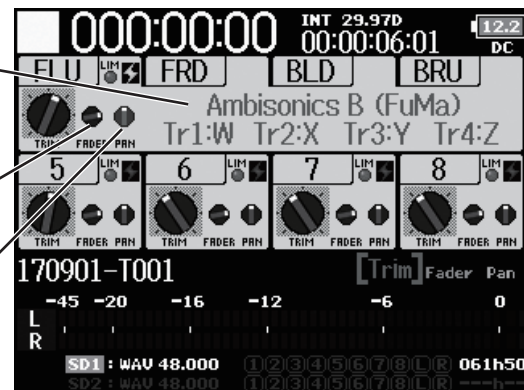


<Trim Knob Option: Trim>

フォーマット名

トラック 1～4 のフェーダー

パンは無効





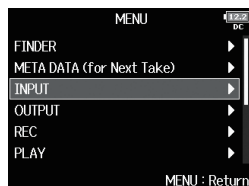
<Trim Knob Option: Mixer>


アンビソニック録音時のマイクポジションを設定する (Mic Position)

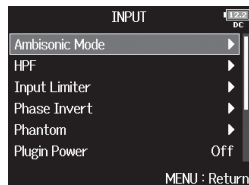
アンビソニック録音時のマイクの向きを**F8**のパラメーターとして定めることによって、マイクの設置方向を上向き／下向き／前向きと変更しても、アンビソニック B フォーマットに変換するときに正しい定位を保つことができます。

1.  を押す

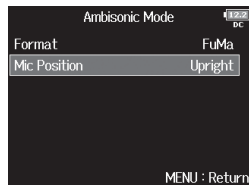
2.  で「INPUT」を選択して、
 を押す





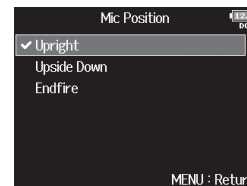
3.  で「Ambisonic Mode」を選択して、
 を押す



4.  で「Mic Position」を選択して、
 を押す

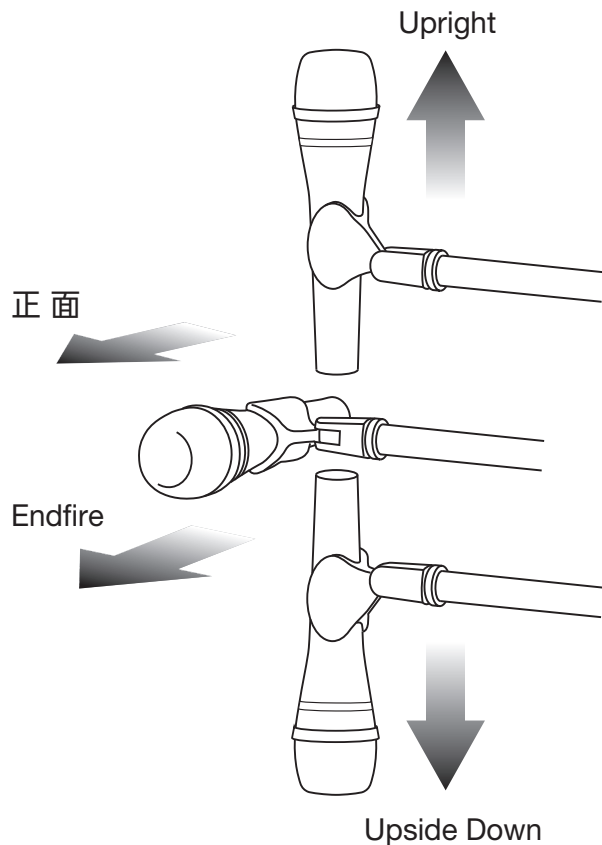


5.  でマイクの向きを選択して、
 を押す



設定値	説明
Upright	マイクを上向きで録音する場合に設定します。
Upside Down	マイクを下向きで録音する場合に設定します。
Endfire	マイクを前向きで録音する場合に設定します。

アンビソニック録音時のマイクポジションを設定する (Mic Position) のつづき

**HINT**

- ・アンビソニック録音では、マイク自体やフロアからの反射を最小限に抑えることができるように、マイクを上向きに設定することが推奨されています。
- ・もしマイクを上向きに設置することが難しい場合は、下向きか前向きに設置し、ここでの設定値を変更するようにしてください。

NOTE

- ・ここでの設定値と録音時のマイクセッティングが合っていない場合、アンビソニックス B フォーマットに変換されたとき、音の位置が正しく再現されません。



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>